

第63回
全道商工会議所大会
苫小牧で開催

6月28日(金)・29日(土)



高向会頭が議長を務め、各地商工会議所会頭から議案発表があった

【議案統括概要】

北海道経済再生と活性化を目指して

【議案】

- ① 中小企業対策の推進について
- ② 金融対策の強化について
- ③ 国税・地方税の改正について
- ④ 北海道新幹線の早期完成と開業効果拡大について
- ⑤ 高規格幹線道路の早期完成について
- ⑥ 道内空港の維持・存続について
- ⑦ 国道・道道、港湾、鉄道の整備促進について
- ⑧ まちづくり対策の推進について
- ⑨ 北海道の特色を活かした商品開発の推進と国内外への
販路開拓・拡大について
- ⑩ 北海道・東北地域の経済連携について
- ⑪ 観光振興対策の推進について
- ⑫ 地域振興対策について
- ⑬ 地域医療体制の充実・強化について
- ⑭ 国際貿易交渉への対応について
- ⑮ 北海道開発の枠組み堅持について

道内42の商工会議所から正副会頭や議員などおよそ470名が集う第63回全道商工会議所大会が苫小牧市で開催され、当所からは、高向会頭、青木副会頭、岩田副会頭、布施副会頭をはじめ議員21名が参加した。

1日目(28日)は、高向会頭と全道商工会議所会頭との懇談会が行なわれたほか、夜には懇親会が開かれた。翌2日目(29日)の本大会では、未だ景気回復の実感が持てない道内経済の閉塞した状況を打開するための地域活性化を目指した15の議案と2つの特別提案が採択された。

中小企業対策では、中小企業・小規模企業政策を成長戦略の柱に位置付け、国の大胆な財政出動による内需拡大を図ることを求めたほか、特別提案では、電力の安定需給に向け、新エネルギー関連産業の誘致を推進することなどを求めた。今回決議された項目は、今後、関係省庁などへの要望活動を行っていく。

また、本大会後の特別講演会では、国際経済学、ミクロ経済学を専門とする東京大学大学院経済学研究科伊藤元重教授による「今後の経済見通しと経済成長戦略について」講話があった。